



学校だより

令和7年12月1日 12月号 岩国市立岩国小学校



子どもたちの確かな成長を感じる「実りの秋」



11月14日の参観日には、多数御来校いただき、感謝申し上げます。今回の参観日では、これまで生活科や総合的な学習の時間に取り組んできたことを発表する学年が多く、まさに「実りの秋」を感じる子どもたちの姿を御覧いただけたのではないかと思います。

生活科や総合的な学習の時間に行う探究活動では、子どもたちが自分の興味や疑問を出発点に学習を進めます。「なぜ?」「どうして?」という問い合わせをもち、調べ、まとめ、発表する過程を通じて、主体的に学ぶ姿勢が育ちます。これは、単に知識を覚えるだけでなく、思考力や判断力、表現力を高めることにつながります。

また、探究活動は仲間と協力しながら進める場面が多くあります。話合いや役割分担を通じて、コミュニケーション能力や協働する力が養われます。さらに、地域や社会と関わる体験を取り入れることで、学びが「生きた知識」となり、実社会とのつながりを実感できます。

ぜひ、御家庭でも「どんなことを調べているの?」「どんな発見があった?」と声をかけていただき、学びを応援していただけるとありがたいです。

「縦割り班活動」を取り入れながら

11月20日、「シェアハピ集会」を行いました。これまでの児童集会は、全校児童が講堂に集まり、全員でゲームをしたり、出し物を見たりするものでしたが、今回は、1～6年生を15、6人程度のグループに分けた縦割り班で行いました。

当日は、5・6年生が1・2年生の手を引きながら、自分たちの集合場所に連れて行くなど、たいへん微笑ましい姿をたくさん見ることができました。いつもとは違う集会に、最初は緊張していた児童も、自己紹介やじゃんけんゲームが終わる頃には、楽しそうに過ごしているのが印象的でした。

学年を超えて児童が交流する「縦割り班活動」は、児童にとって大切な学びの場となります。年上の子は、年下の子を思いやりながら世話をすることで、自然と責任感やリーダーシップを身に付けます。一方、年下の子は、年上の子の姿に憧れを抱き、安心して活動に参加する中で協力する楽しさを知ります。こうした関わりを通して、児童は思いやりの心や助け合う姿勢を育み、学年の枠を超えたコミュニケーション力を高めていきます。

今後もこのような活動を積極的に取り入れ、豊かな人間関係づくりを進めてまいります。



冬季休業中の学校閉庁日について

岩国市では、冬季休業中の学校閉庁期間を延長し、教職員の心身の健康増進や休暇取得促進を通して、学校運営の改善や教職員の働き方改革を推進することとしており、今年度は、12月26日（金）を学校閉庁日とします。

学校閉庁日における緊急時には、岩国市教育委員会を通して各学校長に連絡されるようになっていますので、緊急の際は、岩国市教育委員会学校教育課または岩国市役所に御連絡ください。

<緊急連絡先> 岩国市教育委員会学校教育課 TEL 0827-29-5203 (12/26)
岩国市役所 TEL (代)0827-29-5000 (12/27～1/4)